

植物病原検出キット Agripalette アグリパレット

簡便・短時間で検出可能なイムノクロマトキット

作物栽培においては、各種の植物病が発生し、品質や収量の低下が問題となっています。これら病害に対しては、早期に診断し対策を講じる必要がございます。しかし、生理障害との区別が難しいため、感染の有無を簡易に検出できるキットの開発が求められていました。

本商品は、病原体に対する抗体を用いた金コロイド免疫イムノクロマト法により、感染の疑われる部位（葉柄、葉、花等）から病原ウイルス/病原細菌を検査するキットです。

早期発見・早期対策に、ぜひ当検査キットをご活用下さい。



特徴

- ①： 国内で製造されたイムノクロマトキット
- ②： 専門の機器が無くても、圃場等での診断が可能
- ③： 操作が容易で、短時間で検出可能
- ④： ラインの数で分かりやすい判定

内容

商品名	商品コード	容量	価格（税別）
Agripalette トマト黄化葉巻ウイルス (Tomato yellow leaf curl virus : TYLCV)	AP001-1K	10回用 (5回用×2袋)	15,000円
Agripalette ウリ科野菜果実汚斑細菌病菌 (<i>Acidovorax avenae</i> subsp. <i>citrulli</i> : Aac)	AP002-1K		
Agripalette メロン黄化えそウイルス (Melon yellow spot virus : MYSV)	AP003-1K		
Agripalette パパイア輪点ウイルス (Papaya ringspot virus : PRSV)	AP004-1K		

保存条件：高温を避けて冷蔵（4～10℃）で保存してください。

使用期限：製造から半年

※TYLCVキット及びPRSVキットは茨城県農業総合センターと株式会社ニップンの共同研究の成果をもとに開発されました。

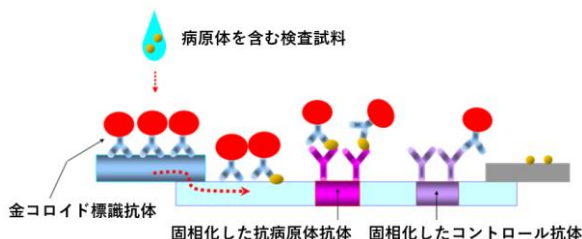


植物病原検出キット Agripalette アグリパレット

簡便・短時間で検出可能なイムノクロマトキット

原理

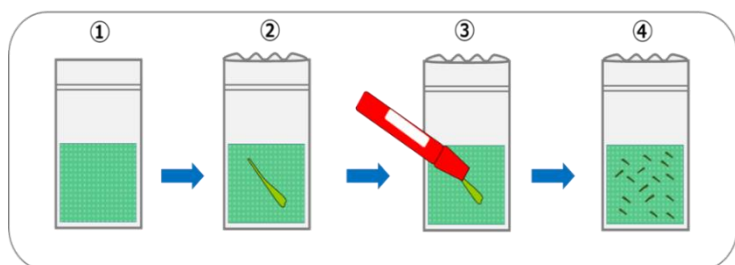
- ①病原体を含む検査試料をテストストリップに滴下すると、検査試料が展開し、病原体と金コロイド標識抗体が複合体を形成します。
- ②複合体はテストストリップ上を移動し、固相化した抗体に捕捉され赤紫色のテストラインが確認されます。
- ③病原体が含まれない場合は、複合体が形成されないため、テストラインは確認されません。



操作手順・判定方法

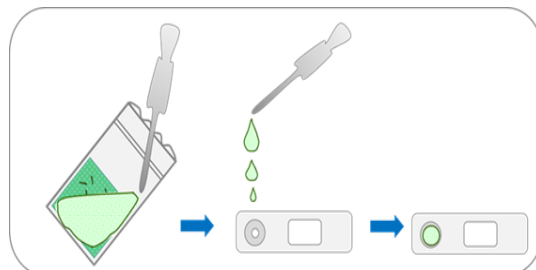
① サンプル摩砕

専用の摩砕袋に適量の検体を入れ、袋の上からマジックペン等の先で摩砕します。



② 摩砕液の滴下

専用のスポイトで摩砕液を吸い取り、テストストリップに滴下します。

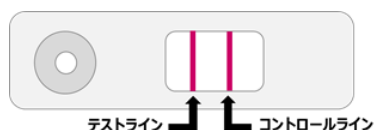


③ 判定

摩砕液を滴下してから10～30分後※、以下の赤紫色ラインのパターンをもとに結果を判定します。

※ 詳細は各キット取扱説明書をご確認下さい。

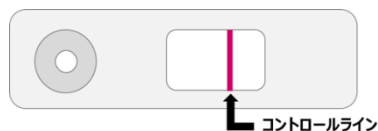
【陽性】 判定窓のラインが2本



【再検査】 判定窓のラインが1本（テストラインのみ）
またはラインが出現しない



【陰性】 判定窓のラインが1本
(コントロールラインのみ)



注意事項

1. キット同封の説明書に記載された操作方法に従って使用して下さい。
2. TYLCVキットの場合、成長点付近の葉柄を使用下さい。成熟した葉などを使用すると、葉の中の夾雑物が判定を阻害するおそれがございます。
3. 抵抗性品種に使用する場合、判定時間に2時間～一晩程度要することがございます。
4. 植物病の確定診断には、葉などに現れる病徴や他の検査法の結果を合わせた、総合的な判断が必要です。

株式会社ファスマック

本社：〒243-0041 神奈川県 厚木市 緑ヶ丘5-1-3

TEL：046-295-8787 FAX：046-294-3738

E-mail：gmo@fasmac.co.jp

WEB：https://www.fasmac.co.jp

販売代理店